

一般質問

■新型コロナウイルス感染症の第2波に備えた対策について

医療提供体制の確保・充実を！

質

新型コロナウイルス感染症の第2波に備え、必要な空きベッドや不足する人材の確保、また、個人防護員の安定供給やインフルエンザ流行も見据えた検査体制の強化も大事であり、今後どのように整備するのか伺う。

感染拡大防止の強化、少子高齢化社会に対応するため、オンライン診療やオンラインツールを活用した遠隔健康相談の普及が求められているが、今後の取組みについて伺う。

答

公立能登総合病院では、国・県と連携し、個人防護員の安定供給に努める。また、かかりつけ医でも検体採取等に協力してもらえよう、10月中旬には手順書が決まる予定である。

オンライン診療は、一定期間通院している方を主な対象として利用可能とされてきた。現在、電話による問診と患者宅近くの薬局へのファックス処方箋で対応しており、特にコロナウイルス感染を心配する高齢者にはオンライン診療よりも利用しやすいのではないかと考えている。



伊藤 厚子 議員 (無会派)



PCR 検査の様子

受入体制	公立能登総合病院 10床 ※能登中部医療圏 34床まで対応可能
検査体制	PCR検査 1日7件 ※流行時には21件まで測定可能

一般質問

■能越道の雨水対策について

河川改修の早期着手を！



徳田 正則 議員 (新政会)



国分橋 (通称：鼠田橋)

質

平成30年8月の豪雨では国分町の国分橋(通称鼠田橋)がネックとなり、上流地域で大きな被害が発生した。御祓川と砂田川の合流地点の国分橋(通称鼠田橋)を改修しないと冠水の解決にはならない。

今後、能越自動車道の工事が着手される中で、橋の改修や河川の合流地点の整備を急がなければならぬ。国や石川県に河川改修計画の早期着手をどのように求めていくのか伺う。



答

石川県からは、鷹合川の整備を優先し、当面は必要に応じて堆積土砂の除去を行うと聞いている。国分橋(通称鼠田橋)は御祓川の河川改修と併せて改修等を検討していく。

市としては、早期事業化や改修計画の策定に向け、石川県に強く要望していくとともに、砂田川や笠師川等の対応を検討していく。

能越自動車道田鶴浜七尾道路については、調整池を4か所設置する予定であり、今後の説明会や用地交渉の折に丁寧に説明していく。

一般質問

■コロナ禍をケアする雇用と経済対策について
緊急雇用対策を！

質

落ち込む消費を支えるため、新型コロナウイルス感染症に負けるな七尾応援金(七尾応援金)の対象にならなかった企業、事業主について、今後どのような対応をするのか伺う。

また、コロナ禍の中での有効求人倍率、失業者、求職者の推移、特例貸付の件数、生活保護の申請数から市として緊急雇用対策はどのようなことをされているのか伺う。

答

窓口や電話での問い合わせがあった場合に情報提供している。また、広報やホームページでの周知を行っている。

8月4日から商工観光課内に「よろず支援拠点」を設け、経営の専門家が国や県の支援策や経営についての相談に応じている。②現在のところ、市として直接雇用には結びつく支援制度は設けていないが、国の雇用調整助成金や持続化給付金などの支援制度や制度融資などを活用し、雇用の確保をお願いする。

有効求人倍率	1.14倍
完全失業率 (石川県)	2.4%
特例貸付 (件数、額)	148件 3,900万円



西川 英伸 議員 (新政会)



支援制度を紹介する七尾市広報